

安全なドライブのために	5-2
パーキングブレーキ	5-10
チルトステアリング	5-10
ルームミラー	5-11
ドアミラー	5-12
エンジンスイッチ（除く、インテリジェントキー付き車）	5-14
エンジンスイッチ（インテリジェントキー付き車）	5-14
エンジンのかけ方	5-17
ターボ車の取り扱い	5-21
アイドリングストップ	5-21
CVT	5-26
CVT 車の運転のしかた	5-31
フルタイム 4WD	5-33
4WD 車取り扱い上の注意	5-34
エマージェンシーストップシグナル	5-35
ヒルスタートアシスト	5-35
ブレーキアシスト	5-36
アンチロックブレーキシステム（ABS）	5-37
電動パワーステアリング（EPS）	5-38
ビークルダイナミクスコントロール（VDC）	5-39
バックビューモニター	5-42
アラウンドビューモニター	5-45

安全なドライブのために

J00723600022

お車を運転の際に知っておいていただきたいこと、守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので、しっかりお読みください。

出発前は

J00723701033

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 強い直射日光などにより車内が高温になると容器が破裂したり、蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- 出発前に運転席の足元付近を点検し、空き缶などの動きやすい物を放置しないでください。
ブレーキペダルやアクセルペダルの下に物が挟まると、ペダル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロアカーペットはペダルに引っかからないよう、車に合ったものを正しく敷いてください。→「フロアカーペット」P.6-8
正しく敷かないと、ペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがありますので、つぎのことをお守りください。
 - ・ずれないように固定クリップなどで確実に固定する。
 - ・ペダルをおおわない。
 - ・重ねて敷かない。
 - ・アクセルペダルの下に敷かない。

フロントガラス前部の雪、落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪、落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと、車内の換気が十分にできずガラスが曇り、視界が悪くなるおそれがあります。

走行するときは

J00723801047

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは、子どもや障害物など、車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車を後退させるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。

雨天時や水たまりを走行するときは

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし、ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後、ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは、前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき、あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず、水上を滑走する状態になり、車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水路などは走行しない

- 冠水した道路や深い水たまりなどは走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。
万一、冠水路などを走行し、水に浸かってしまったときは、必ず販売会社で点検を受けてください。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。
坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

段差などを通過するときは

- できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合、車体、バンパー、マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
 - ・駐車場の出入り口
 - ・路肩や車止めのある場所
 - ・勾配の急な場所
 - ・わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00723901051

万一、走行中にエンストしたときは

- 走行中にエンストしたときは、運転操作に変化がおきますので、つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。
 - ・ブレーキ倍力装置が働かなくなるため、ブレーキの効きが非常に悪くなります。
通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し、再び踏み直すと、ブレーキの効きがさらに悪くなります。
 - ・万一、スピードが落ちないときは、パーキングブレーキを慎重にかけてください。
このときも、ブレーキペダルは強く踏み続けて下さい。
 - ・パワーステアリング装置が働かなくなるため、ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

- 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかりと持ち、徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
- つぎのようなときは、パンクやバーストが考えられます。
 - ・ハンドルがとられるとき
 - ・異常な振動があるとき
 - ・車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

- 警告灯が点灯または点滅したときは、安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P.11-2
点灯または点滅したまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは、そのまま使用せず販売会社にご連絡ください。

駐停車するときは

J00724001059

燃えやすいものの近くには車を止めない

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため、火災になるおそれがあります。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- エンジンをかけたまま仮眠すると、排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセレクターレバーを動かしたり、アクセルペダルの踏み込みにより、不用意な発進など、重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに、オーバーヒートを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱により、火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけ、セクターレバーを**P**に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは、標準で装備されておりませんので必要に応じて準備してください。
輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

5

雪が積もった場所や降雪時にはエンジンをかけたままにしない

- エンジンがかかった状態で、車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

経済的な運転をするために

J00724101034

無駄な荷物を載せない

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進、加速はスムーズに

- 不必要な急発進、急加速、急減速など、アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け、アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

速度はできるだけ一定に

- 法定速度を守り、できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

- 空ぶかしは、燃料の無駄使いであると同時に、騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンをストップ

- 携帯電話の使用や休憩などで、長い間車を止めるときは、エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に、騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

- 日常点検でタイヤの接地部のたわみ状態を点検してください。また、月に一度はタイヤエアゲージで点検してください。
 - 「タイヤの空気圧の点検・調整」P.9-6
 - 「タイヤの空気圧」P.12-7

お子さまを乗せるときは

J00724201048

お子さまはリヤシートに座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく、お子さまが運転装置に触れて、重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも、つぎのことをお守りください。
 - ・必ずシートベルトを着用する
 - 「シートベルト」P.3-7
 - ・シートをできるだけ後方に下げる
 - ・シートに深く腰かけて、背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると、車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり、熱射病などのおそれがあります。

こんなことにも注意

J00724301049

5

運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用しない

- 運転中、運転者はハンズフリー以外の携帯電話を使用しないでください。使用すると、周囲の状況に対する注意がおろそかになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中、運転者がハンズフリー以外の携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

- ブレーキペダルに常に足をのせて運転すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。

ハンドルをいっぱい回した状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
→「電動パワーステアリング (EPS)」P.5-38

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

- エンジンがかかっていないと、ブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドル操作が非常に重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも、必ずエンジンをかけてください。

アクセサリ取り付け時の注意

- ウィンドウガラスなどにアクセサリをつけたり、インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。運転の妨げになったり、吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など、思わぬ事故の原因となります。

違法改造はしない

- 国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
また、純正部品以外を装着すると、車の性能や機能に影響し、思いがけない事故が発生するおそれがあります。

電装品や無線機などの注意

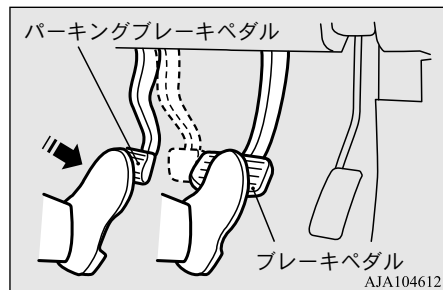
- 電装品や無線機などを取り付けるときは、販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり、保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ

J00700102167

かけるときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。
メーター内のブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



⚠ 注意

- 坂道に駐車するときはパーキングブレーキを確実にかけ、セクターレバーを **P** に入れてください。

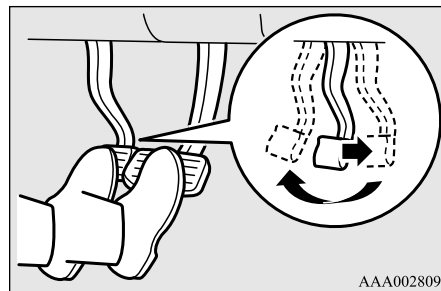
⚠ 注意

- パーキングブレーキの効きを強くするとき、ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、一度パーキングブレーキを解除してから再度パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキがかかった状態でパーキングブレーキペダルを踏み込むとパーキングブレーキは解除されます。
- パーキングブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に車を止めてからパーキングブレーキペダルを踏んでください。
車が動いているうちにパーキングブレーキペダルを踏むと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。またパーキングブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

右足でブレーキペダルを踏んだまま左足でパーキングブレーキペダルを踏み込みます。カチッと音がしたらパーキングブレーキペダルをゆっくりと戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

チルトステアリング

タイプ別装備

J00700201493

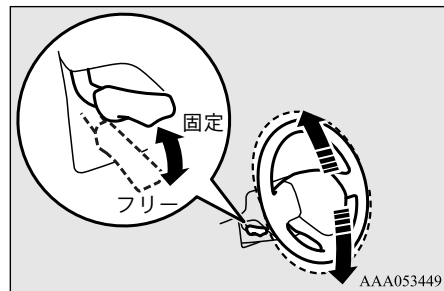
⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かして調整します。

レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。

調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

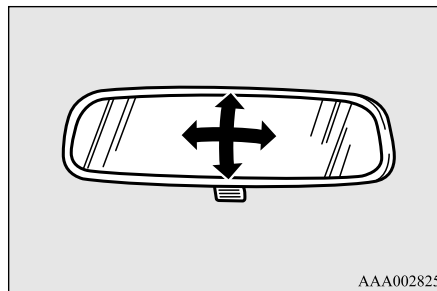
J00700301595

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

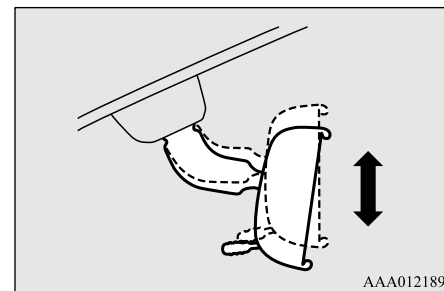
ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



ミラーの上下位置調整

タイプ別装備

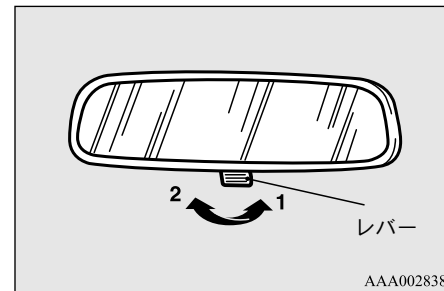
ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。



防眩切り換え

手動式

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えます。



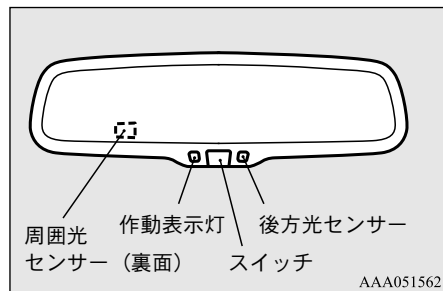
- 1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。

ドアミラー

- 2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

自動式

後続車のライトがまぶしいとき、まぶしさの度合いに応じて自動的に防眩機能が作動します。
エンジンスイッチの電源モードを ON にすると自動防眩機能が作動し、作動表示灯（緑色）が点灯します。



アドバイス

- 後方光センサー、周囲光センサーの周辺および配線にアクセサリを取り付けたり、ガラスクリーナーをかけたりしないでください。
自動防眩機能が誤動作する原因になります。

アドバイス

- 自動防眩機能を停止させたいときは、スイッチを押して作動表示灯を消灯させます。もう一度スイッチを押すか、エンジンスイッチの電源モードを OFF にして再度 ON にすると、自動防眩機能は作動状態に戻ります。
- 外気温が低いときは自動防眩機能の切り換え速度が遅くなります。

ドアミラー

J00700500910

ミラーの角度調整

J00718201160

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
凸面鏡は平面鏡に比べ、物が遠くに見え、実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

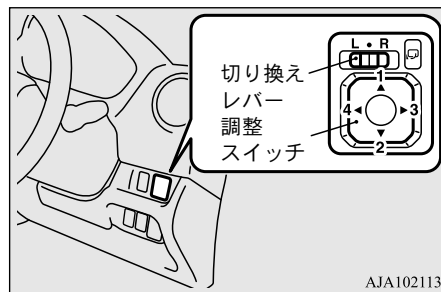
エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC の状態のときに調整できます。

1. 切り換えレバーを調整したい側の位置に動かします。
L: 左側ミラーの調整
R: 右側ミラーの調整

2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

J00718301161

⚠ 注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

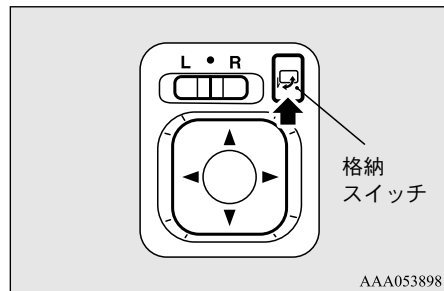
格納スイッチによるミラーの格納・復帰

J00718400266

エンジンスイッチまたは電源モードが ON または ACC の状態のときに操作できます。

格納スイッチを押すとミラーが格納されます。

もう一度押すともとの位置に戻ります。エンジンスイッチを LOCK の状態にした後、または電源モードを OFF の状態にした後でも、約 30 秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠ 注意

- ミラーは手で格納することも復帰することもできますが、格納スイッチの操作で格納したミラーは手で戻さず、再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 格納スイッチで格納したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり、走行中の振動および風の影響などでミラーが動き、後方の確認ができなくなります。

📖 アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

格納スイッチの操作以外によるミラーの格納・復帰

J00718401322

除く、インテリジェントキー付き車

リモコンスイッチですべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「リモコンスイッチの使いかた」P.2-3

インテリジェントキー付き車

リモコンスイッチまたはインテリジェントキー機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠・解錠するとミラーが自動格納・自動復帰します。

→「リモコンスイッチの使いかた」P.2-3

📖 アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
- 運転席ドアを閉め、エンジンスイッチまたは電源モードを ON または ACC にすると自動復帰する。
また、エンジンスイッチを LOCK にした後、または電源モードを OFF にした後、運転席ドアを開くと自動格納する。
- 走行スピードが 30 km/h になると自動復帰する。
- 格納スイッチ以外での操作をできなくする。
詳しくは販売会社にご相談ください。

ヒーター付ドアミラー

タイプ別装備

J00706801475

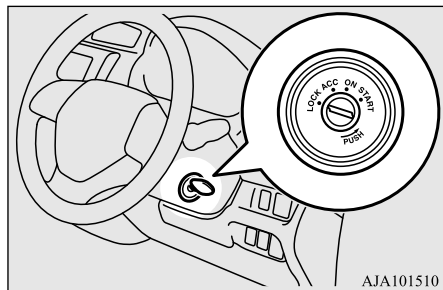
エンジンがかかっているときにリヤウインドウデフォグスイッチを操作すると、ドアミラー内部のヒーターが作動し、ミラーの曇りを取ることができます。

エンジンスイッチ（除く、インテリジェントキー付き車）

→「リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）スイッチ」P.4-22

エンジンスイッチ（除く、インテリジェントキー付き車）

J00700802018



各位置の働き

LOCK

ハンドルがロックされる位置
キーが抜き差しできます

ACC

エンジンを止めたままでもオーディオ、電源ソケットなどが使用できる位置

ON

すべての電気系統が働きます

START

エンジンを始動する位置
エンジンがかかったら、キーから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは、エンジンスイッチをSTARTの位置にしないでください。スターティングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチがLOCKからACCの位置にできないときはハンドルを軽く左右に動かしながらエンジンスイッチをACCの位置にしてください。

キーを抜くときは

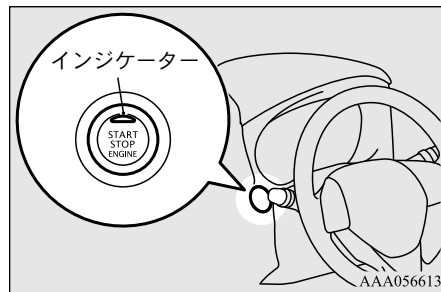
J00706201583

ACCの位置でキーを押しながらLOCKの位置にして抜きます。
セクターレバーが①でないとキーを抜くことはできません。

エンジンスイッチ（インテリジェントキー付き車）

J00700802005

車両盗難防止のため、あらかじめ登録されたインテリジェントキー以外ではエンジンがかかりません。（エンジンイモビライザー機能）
インテリジェントキーを携帯しているとき、エンジンの始動ができます。



⚠ 警告

- エンジンスイッチ上のインジケータが
橙色に点滅したときは、絶対に走行しな
いでください。思わぬ事故につながるお
それがあります。
ただちに販売会社へご連絡ください。

⚠ 注意

- エンジンスイッチに引っかかりがあると
きは、エンジンスイッチの操作をせず、た
だちに販売会社へご連絡ください。

📖 アドバイス

- エンジンスイッチは奥まで確実に押し
てください。押し方が不十分な場合は、電
源モードの切り換えやエンジンの始動が
できない場合があります。確実に操作す
れば、エンジンスイッチを押し続ける必
要はありません。

エンジンスイッチの電源モー ドと働き

OFF

スイッチ上のインジケー
ターは消灯します
セレクターレバーが
P以外のときは OFF に
なりません

ACC

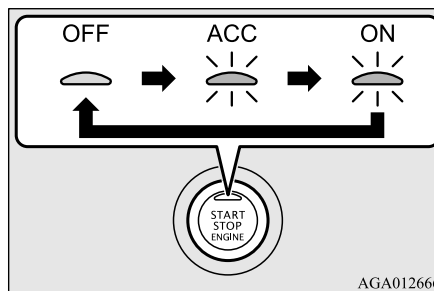
エンジンを止めたままでもオーディオ、電源ソ
ケットなどが使用できる
モード
スイッチ上のインジケー
ターが橙色に点灯します

ON

すべての電気系統が働く
モード
スイッチ上のインジケー
ターが緑色に点灯します
エンジン回転中は消灯し
ます

電源モードの切り換え方

ブレーキペダルを踏まずにエンジンス
イッチを押すと、電源モードが「OFF」→
「ACC」→「ON」の順に切り
換わります。



AGA012666

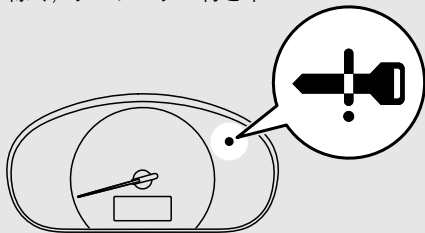
📖 アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどの
電気製品を使用したり、電源モードを長
時間 ACC または ON のままにしておく
と、バッテリー上がりを起こし、エン
ジンの始動やハンドルロックの作動およ
び解除ができなくなります。
- バッテリーを外しても電源モードの状態
は記憶されます。バッテリーを再接続し
たときは、電源が絶たれる前の電源モ
ードの状態に戻ります。修理などでバッ
テリーを外すときは、必ず電源モードを
OFF にしてから行ってください。
バッテリー上がりのときに、バッテリー
が上がる前の電源モードの状態がわか
らない場合は十分注意をしてください。
- インテリジェントキーが車室内にないと
電源モードを OFF から ACC, または ON
に切り換えることはできません。
→ 「エンジンを始動する、電源モードを
切り換えるときの作動範囲」 P.2-9
- インテリジェントキーが車室内にあって
も電源モードが切り換わらないときは、
キーの電池切れなどが考えられます。
→ 「警告表示について」 P.2-11

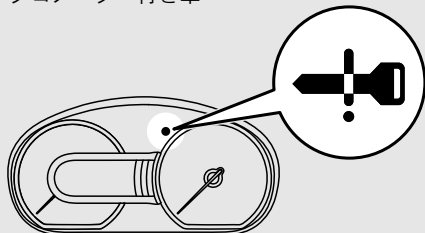
電源モード OFF 切り換え忘れ防止機構

J00729600024

除く、タコメーター付き車



タコメーター付き車



AJ4100033

電源モードが OFF 以外のとき、すべてのドアおよびテールゲートを閉め、ドアスイッチおよびテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠しようとする、警告灯と約 3 秒間のブザーで警告し、ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

電源モード OFF 戻し忘れ防止機構

J00729800026

エンジンが止まっている、かつ電源モードが OFF 以外のとき、運転席ドアを開くと警告ブザーが断続的に鳴り、電源モードが OFF に切り換えられていないことを知らせます。

ACC 電源オートカット機能

J00713801204

セレクターレバーが P の状態で、電源モードが ACC のまま約 30 分経過すると、オーディオなど ACC の状態で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。運転席のドアを開けたり、エンジンスイッチを操作すると、再び電源が入ります。

アドバイス

- ACC 電源オートカット機能が働いたときは、ハンドルロックは作動せず、リモートコントロールエントリーまたはインテリジェントキー機能によるドアおよびテールゲートの施錠／開錠はできません。
- つぎの通り機能を変更することができません。

アドバイス

- 電源を自動的にカットするまでの時間を約 60 分間に変更する
 - 電源を自動的にカットする機能を働かなくする
- 詳しくは販売会社にご相談ください。

ハンドルロック

J00727501026

エンジンスイッチを押して電源モードを OFF にした後、運転席ドアを開くとハンドルが固定されます。解除するときはエンジンスイッチを押します。

警告

- 走行中にエンストしたときは、車が安全な場所に停車するまでドアを開いたりしないでください。ハンドルロックが作動する可能性があるため、重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電源モードが OFF のときにつぎの操作を行うとハンドルが固定されます。
- 運転席ドアを開くまたは閉じる
- すべてのドアを閉じる
- すべてのドアが閉じているときにいずれかのドアを開く

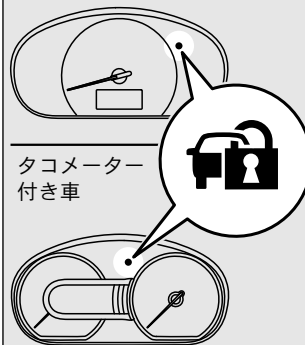
アドバイス

- ・リモートコントロールエントリー機能またはインテリジェントキー機能の操作でドアを施錠する
- ハンドルが固定されていないときに運転席のドアを開いていると、ブザーが鳴ります。
- エンジンスイッチを操作したときにハンドルロックが解除できなかったときは、警告灯が点滅し、ブザーが鳴ります。ハンドルを左右に動かしながら再度エンジンスイッチを押してください。

アドバイス

- ハンドルロックシステムが異常で、固定ができなかったときは警告灯が点灯します。電源モードを ON から OFF にして、ハンドルを再度固定してください。警告灯が再び点灯するならば販売会社で点検を受けてください。

除く、タコメーター付き車



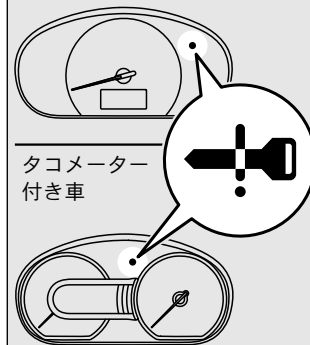
タコメーター
付き車

AJM100399

アドバイス

- ハンドルロックシステム内に障害があるときは警告灯が点灯しブザーが鳴ります。ただちに、車を安全な場所に止めて販売会社へ連絡してください。

除く、タコメーター付き車



タコメーター
付き車

AJM100403

5

エンジンのかけ方

J00700902745

警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

警告

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ず販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- エンジンルームから、エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。

アドバイス

- セレクターレバーが **P** または **N** 以外ではエンジンがかかりません。安全のため車輪が固定できる **P** でエンジンをかけてください。

注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは、高速走行を避けてできるだけ早く販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」P.4-14

除く、インテリジェントキー付き車

1. 正しい運転姿勢をとります。
ブレーキペダルが確実に踏み、ハンドル操作が楽にできるように、シート位置を調整します。
→「フロントシート」P.3-2
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーが **P** にあることを確認します。

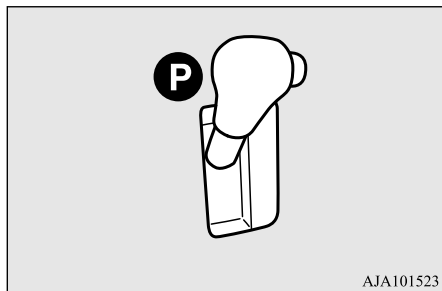
4. ブレーキペダルを右足で踏みます。
5. エンジンスイッチにキーを差し込み、START に回してエンジンをかけます。

アドバイス

- バッテリーの交換直後などはバッテリー状態を把握のため、エンジン始動に若干の遅れを生じる場合があります。

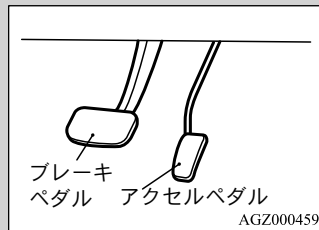
アドバイス

- 除く、インテリジェントキー付き車は、バッテリー上がりやスターティングモーターの故障を防ぐため、START にして 15 秒以上スターティングモーターを回さないでください。15 秒以上たってもエンジンがかからなかったときは、一旦キーを LOCK に戻し、2 ～ 3 秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターティングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや、再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり、高速運転は避けてください。



⚠警告

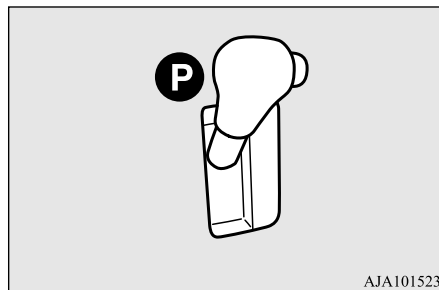
- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

**📖アドバイス**

- エンジンがかからないときはつぎの手順にしてください。
- ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
- エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

インテリジェントキー付き車**エンジンのかけ方**

1. 正しい運転姿勢をとります。
ブレーキペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シート位置を調整します。
→「フロントシート」P.3-2
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. セクターレバーがPにあることを確認します。

**📖アドバイス**

- セクターレバーがPまたはN以外ではエンジンがかかりません。
安全のため車輪が固定できるPでエンジンをかけてください。

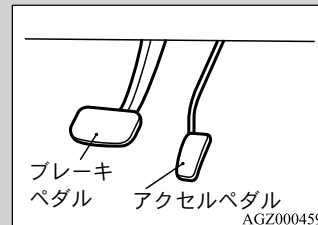
4. ブレーキペダルを右足で踏み、エンジンスイッチを押してエンジンをかけます。

📖アドバイス

- バッテリーの交換直後などはバッテリー状態を把握のため、エンジン始動に若干の遅れを生じる場合があります。

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

**📖アドバイス**

- どの電源モードのときでもエンジンが始動できます。

アドバイス

- エンジンの始動操作をしてすぐにエンジンスイッチから手を離すと、エンジン始動のために最大で約15秒間スターチングモーターが回り続けます。スターチングモーターが回転中に再度エンジンスイッチを押すと、スターチングモーターが止まります。エンジンスイッチを押したままでも、最大で約30秒間スターチングモーターが回り続けます。エンジンがかからないときは、しばらくしてから再度エンジンの始動操作を行ってください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
 - ・ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
 - ・エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

エンジンの止め方

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーをPに入れてから、エンジンスイッチを押してエンジンを止めます。

警告

- 緊急を要する場合以外は走行中にエンジンを止めないでください。ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

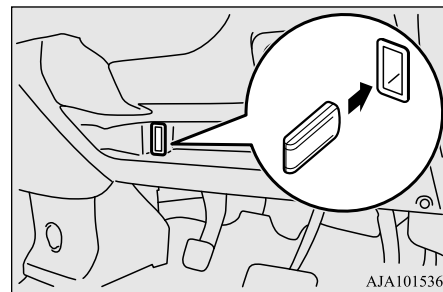
- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチを操作しないでください。万一、走行中にエンジンを緊急停止したい場合は、エンジンスイッチを3秒以上押し続けるか、素早く3回以上押してください。エンジンが止まり、電源モードがACCになります。
- セレクターレバーがP以外でエンジンを止めないでください。セレクターレバーがP以外でエンジンを止めると、電源モードはACCに切り換わり、OFFになりません。セレクターレバーをPに入れてから電源モードをOFFにしてください。

インテリジェントキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）または、スペアキーを使用してエンジンを始動するときは

運転席前のアンダートレイ内にあるキーボックスにインテリジェントキーまたはスペアキーを差し込みます。エンジンの

始動、電源モードの切り換えが可能になります。

エンジンの始動後または電源モードの切り換え後は、キーボックスからインテリジェントキーまたはスペアキーを抜いてください。

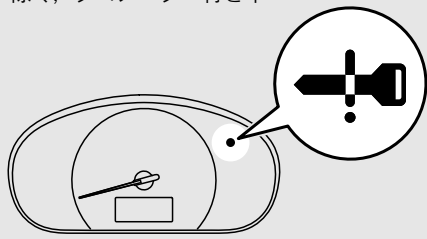


アドバイス

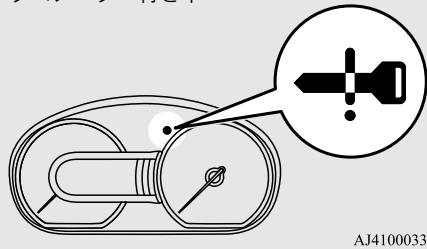
- キーに接している金属や他のキーを取り除いてから、キーボックスにインテリジェントキーまたはスペアキーを差し込んでください。車がキーからの信号を受信できずエンジンの始動や電源モードの切り換えができないことがあります。
- キーボックスにインテリジェントキーまたはスペアキー以外のものを入れないでください。破損したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

キー忘れ監視機構

除く、タコメーター付き車



タコメーター付き車



AJ4100033

電源モードが OFF のとき、キーボックスにインテリジェントキーまたはスペアキーを差したまま運転席ドアを開くと、警告灯と約3秒間のブザーで警告し、キーの抜き忘れを知らせます。

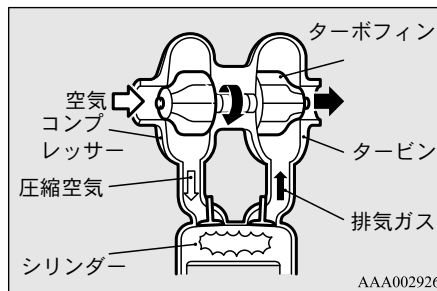
ターボ車の取り扱い

J00701200161

⚠ 注意

- エンジンをかけた直後は、空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は、低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

ターボとは ...



AAA002926

正式にはターボチャージャーといい、シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し、高温下で使われ、潤滑はエンジンオイル、冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換し

ないとターボ軸受部の固着、異音の発生などの原因となります。

アイドリングストップ

タイプ別装備

J00723001081

アイドリングストップは、信号待ちや渋滞などで停車する際に、エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して、排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。

2WD 車では、ブレーキペダルを踏み込んで停車する手前で速度が約 13km/h 以下になったときにもエンジンを停止します。(コストストップ機能)

⚠ 警告

- アイドリングストップ付き車に市販の ETC 車載器を取り付けるときは、適切な取り付けが必要ですので販売会社にご相談ください。取り付け方法が適切でないと、ETC ゲート通過時に ETC が正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。

アイドリングストップ

⚠ 注意

- 車を長時間停車させたり、車から離れるときは、エンジンスイッチを LOCK または電源モードを OFF にしてエンジンを停止させてください。

5

📖 アドバイス

- アイドリングストップでエンジンを止めた時間はメーター内のインフォメーション画面に表示します。
→「アイドリングストップモニター」P.4-7

アイドリングストップを起動するには

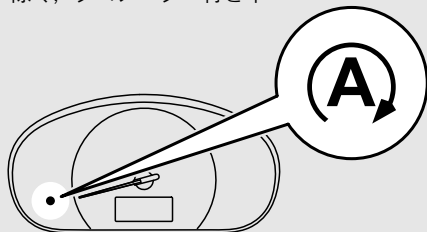
J00723101082

アイドリングストップは、エンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると自動的に起動します。

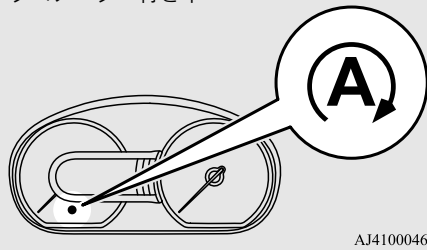
アイドリングストップを非作動にするにはアイドリングストップ OFF スイッチを押します。詳しくは「アイドリングストップを非作動にするには」をお読みください。→P.5-25

アイドリングストップが作動可能な状態であるときは表示灯が点灯して運転者に知らせます。

除く、タコメーター付き車



タコメーター付き車



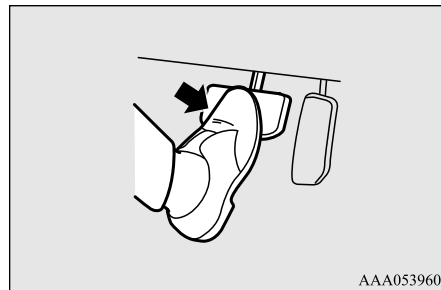
AJ4100046

エンジンを自動で停止させるには

J00723201197

1. アイドリングストップ表示灯が点灯しているときにブレーキペダルを踏み込んで、減速させます。

2. 速度が約 13km/h 以下になったとき (2WD 車) もしくは完全に停車して、ブレーキペダルがしっかり踏み込まれていると、エンジンが自動的に停止します。



📖 アドバイス

- エンジンが自動的に停止した場合、車両停止後は電動パワーステアリングが作動しなくなり、ハンドル操作が重くなりますので十分注意してください。


⚠ 注意

- エンジンが自動的に停止しているときは、車外に出ようとししないでください。運転者がシートベルトを外したり、運転席ドアを開けたりすると、エンジンが自動的に再始動するため、車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあります。


📖 アドバイス

- つぎのようなときは、アイドリングストップ表示灯は点灯せず、エンジンは自動的に停止しません。
 - 運転者がシートベルトを着用していないとき
 - 運転席のドアが開いているとき
 - エンジンフードが開いているとき
 - エンジンが自動的に再始動してから、速度が 5km/h 以上になっていないとき
 - ハンドル操作をしているとき
 - パーキングブレーキをかけているとき
 - エンジンスイッチでエンジンをかけから、30 秒未満のとき
 - エンジンが自動的に再始動してから 10 秒以内に再停車したとき
 - セレクターレバーが **D** 以外のとき
 - エンジン冷却水の温度が低いとき
 - 車外の気温が 3°C 以下のとき
 - バッテリー性能が劣化などの理由により低下しているときや、バッテリー上がりなどにより充電した直後に走行したとき
 - エンジン警告灯が点灯しているとき
 - アイドリングストップ OFF 表示灯が点滅しているとき
 - メーター内のポジションインジケータが点滅しているとき
 - ABS 警告灯が点灯しているとき
 - 車内の温度が高いときに、エアコンを使用しているとき

📖 アドバイス

- エアコンの吹き出し口が  (曇り取り) の位置にあるとき
- 温度調整ダイヤルを最高温度または最低温度に設定して、エアコンを AUTO 作動させているとき (オートエアコン付き車)
- リヤウインドウデフォグガー (曇り取り) や電装品が作動している場合や、エアコンの風量調整ダイヤルが風量強に設定されている場合など、消費電力が大きいとき
- つぎのようなときは、アイドリングストップ表示灯は点灯せず、コーストストップ機能は作動しません。(2WD 車)
 - ライトスイッチが OFF 以外のとき
 - ワイパー・ウォッシャースイッチが OFF 以外のとき
 - 急減速したとき
- つぎのようなときは、アイドリングストップ表示灯が点灯していても、エンジンが自動的に停止しない場合があります。
 - アクセルペダルを踏んでいるとき
 - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり、通常より強めに踏み込んだりして、ブレーキの負圧が低いとき
 - 勾配が急な場所で停車したとき

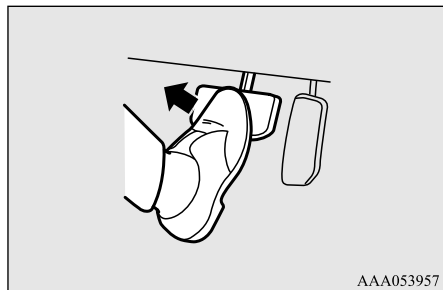
📖 アドバイス

- エンジンが自動的に再始動してから、速度が 25km/h 以上になっていないとき (2WD 車)
- エアコン作動中にアイドリングストップが作動した場合、エンジンとエアコンコンプレッサの両方が停止し、送風のみとなるため、ウインドウガラスが曇ることがあります。ウインドウガラスが曇ったときは、つぎのように処置してエンジンを再始動させてください。
 - マニュアルエアコン付き車：
 - 吹き出し口切り換えダイヤルを  (曇り取り) の位置にする
 - 「吹き出し口の切り換え」 P.7-3
 - オートエアコン付き車：
 - デフロスタースイッチに触れる
 - 「デフロスタースイッチ」 P.7-14
- エンジンが停止するたびにウインドウガラスが曇る場合は、アイドリングストップ OFF スwitchを押してアイドリングストップを非作動にすることをおすすめします。
 - 「アイドリングストップを非作動にするには」 P.5-25
- 車外の温度が高いときにエアコンが作動しているときは、温度調整ダイヤルを高めに設定すると、エンジンの自動停止時間が延長されます。

エンジンを自動で再始動させるには

J00723301130

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが自動的に再始動します。



AAA053957

アドバイス

- エンジンを自動で再始動させたときに、ブレーキをかけた状態を一時的に保持して、クリープ現象などによる車両の不意な飛び出しを防ぐ機能が装備されています。セレクターレバーを **N** にすると、機能は解除されます。機能作動中に、車体下から作動音がしたり、ブレーキペダルにショックを感じる場合がありますが、これは機能が正常に作動していることを示すもので、異常ではありません。

アドバイス

- エンジンが自動的に再始動しない場合やエンストした場合、充電警告灯およびエンジン警告灯が点灯します。また再始動を失敗した場合、アイドリングストップ OFF 表示灯が点滅および警告ブザーが鳴り、運転者へ知らせます。この状態になると、ブレーキペダルから足を離してもエンジンは自動で再始動しません。ブレーキペダルを踏み込みながら、セレクターレバーを **P** に入れ、エンジンスイッチを **START** に回して、またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
→P.5-17

注意

- つぎのようなときは、ブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが自動的に再始動します。エンジンの再始動時に思わぬ事故につながるおそれがありますので、十分ご注意ください。
- エンジンが自動停止してから約3分経過したとき
- 坂道を惰性で下るなど、車両が動き出したとき
- ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり、通常より強めに踏み込んだりして、ブレーキの負圧が低いとき
- 停車する前に、下り坂や上り坂にさしかかったとき（2WD 車）

注意

- エンジン冷却水の温度が低いとき
- セレクターレバーを **R** に入れたとき
- エアコンスイッチを押して、エアコンを作動させたとき
- 温度調整ダイヤルを使用して、エアコンの設定温度を大きく変更したとき
- エアコンの吹き出し口を **W** (曇り取り) の位置に切り換えたとき
- エアコンを使用しているときに、車内の温度が上昇して、エアコンのコンプレッサーが作動したとき（オートエアコン付き車）
- リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）や電装品を作動させた場合や、エアコンの風量調整ダイヤルを風量強に設定した場合など、消費電力が大きくなったとき
- バッテリーの充電量が低下したとき
- ハンドル操作をしたとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- 運転席のドアを開けたとき

アドバイス

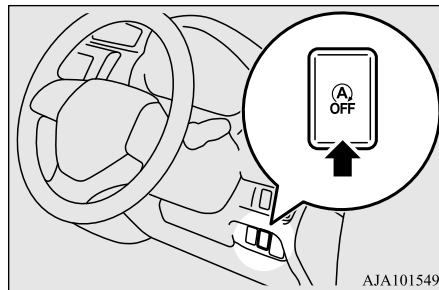
- エンジンが自動停止しているときにブレーキペダルを強く踏み込み、セレクターレバーをすばやく**D**から**P**へ操作すると、表示灯が点滅して、ブレーキペダルから足を離してもエンジン停止状態を保持することができます。
この状態から、エンジンを自動で再始動させるときは、もう一度ブレーキペダルを踏み込みます。
- 停車後、エンジンが自動的に停止しているときにエンジンフードを開けると、表示灯が点滅してブザーが鳴り、エンジンは自動で再始動しません。再始動する場合は、ブレーキペダルを踏み込みながら、セレクターレバーを**P**に入れ、エンジンスイッチを **START** に回して、またはエンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンのかけ方」をお読みください。
→P.5-17
- エンジンが自動的に再始動するとき、一時的にオーディオの音量が下がることがありますが、故障ではありません。
- エンジンが自動で停止している間、一時的にエアコンの風量に変化することがありますが、故障ではありません。

アイドリングストップを非作動にするには

J00723401098

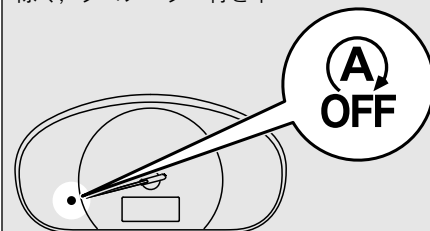
アイドリングストップが起動しているときにスイッチを押すと、表示灯が点灯してアイドリングストップが非作動状態になります。

もう一度スイッチを押すと、表示灯が消灯して、アイドリングストップが再度起動します。

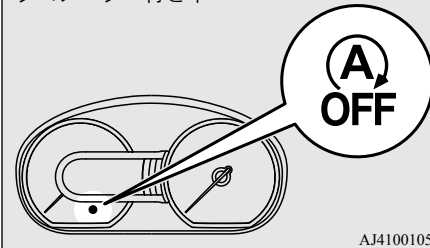


AJA101549

除く、タコメーター付き車



タコメーター付き車



AJ4100105

アドバイス

- この表示灯は、エンジンスイッチまたは電源モードを **ON** にした時も、数秒間点灯します。
- アイドリングストップを使ってエンジンを自動停止させているときは、スイッチを押しても、アイドリングストップを非作動にすることはできません。

走行中にアイドリングストップ OFF 表示灯が点滅したときは

J00723501073

走行中に表示灯が点滅したときは、アイドリングストップに異常があるため、アイドリングストップが正常に作動しません。

表示灯が点滅したまま消えないときや、たびたび点滅するときは、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

CVT

J00701401447

CVT: Continuously Variable Transmission

CVT は、路面や走行状況に応じて、常に適切な変速比を無段階に自動選択し、低燃費で変速ショックのないスムーズな走行を実現します。

上り坂では

アクセルペダルを戻しても不必要なシフトアップを防止し、スムーズな走りを実現します。

下り坂では

状況に応じて変速比を変更して、運転者がブレーキペダルを踏む回数を低減します。

⚠ 注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じたときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んだり、セクターレバーを **DS** または **①** に切り換えてください。

なお、滑りやすい路面ではセクターレバーを **①** に切り換えるとタイヤがスリップするおそれがありますので、常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

セレクターポジションの働き

J00701701424



(パーキング)

駐車およびエンジンをかけるとき

車輪が固定されます。駐車のときは必ずパーキングブレーキをかけて**P**にしてください。



(リバース)

後退させるとき

Rにするとブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。

⚠ 注意

- ブザーは車外の人には聞こえません。



(ニュートラル)

動力が伝達されません

この位置でもエンジンをかけることができますが安全のため**P**で行ってください。



(ドライブ)

通常走行

発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。



(ダウンシフト&

ドライブスポーティ)

坂道走行

軽いエンジンブレーキが必要なとき、力強いスポーティ走行を行うときに使います。

→Ds (ダウンシフト&ドライブスポーティ) スイッチ P.5-29

📖 アドバイス

- 高速道路の長い下り坂、山道や登降坂路などの走行に有効です。



(ロー)
急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

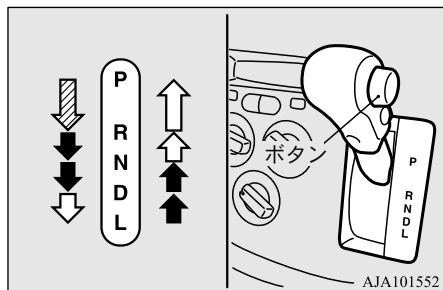
警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

5

セクターレバーの動かし方

J00701501637



- ⬇️ ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
- ⬇️ ボタンを押さずに操作します。
- ⬇️ ボタンを押したまま操作します。

警告

- ⬇️の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤って**P**、**R**、**L**に入れてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セクターレバーを**N**→**D**または**N**→**R**に操作するときは、安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロックシステムが働いて**P**から他の位置に操作できません。また、エンジンスイッチまたは電源モードがつぎの状態のときはブレーキペダルを踏んでも**P**から他の位置に操作できません。
[除く、インテリジェントキー付き車]
エンジンスイッチがLOCKまたはACCの状態。
[インテリジェントキー付き車]
電源モードがOFF または ACC の状態。
- ⬇️の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると、セクターレバーが動かなくなることがあります。
- D**から**R**、**R**から**D**および**P**に入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちに**P**や**R**に入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

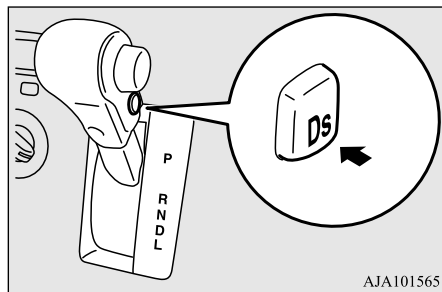
Ds（ダウンシフト&ドライブ スポーティ）スイッチ

J00701801441

セクターレバーが、**D**のときにスイッチを押すと**Ds**に切り換えることができます。

軽いエンジンプレーキが必要なときや、力強いスポーティ走行を行うときに使用します。

スイッチを押すごとに**D**と**Ds**が切り換わり、選択している状態をメーター内のポジションインジケータに表示します。



AJA101565

アドバイス

- つぎの操作を行ったときは自動的に**Ds**が解除されます。
- エンジンを始動したとき

アドバイス

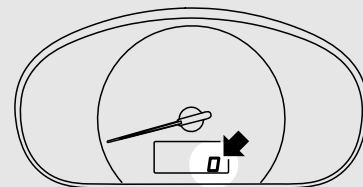
- セクターレバーを**D**以外に入れたとき
- スイッチを押したまま保持すると、保護回路が働いて**Ds**に切り換えることができなくなることがあります。
このようなときは一度エンジンを停止し、再始動させてください。

ポジションインジケーター

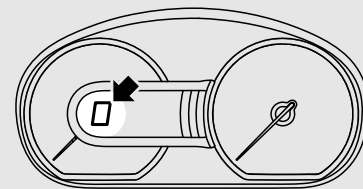
J00701601625

セクターレバー操作の位置をメーター内に表示します。

除く、タコメーター付き車



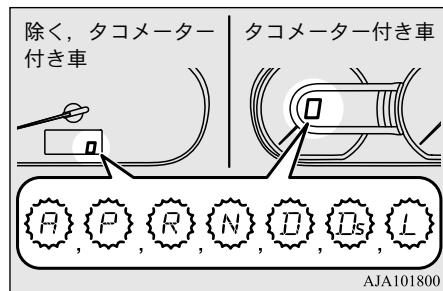
タコメーター付き車



AJ4100059

警告表示

J00712201302



走行中にメーター内のポジションインジケーターが点滅したときは、つぎの方法で処置してください。

アドバイス

- “A”が点滅するときは CVT ポジションスイッチが故障しています。通常では表示しません。

インジケーターが早く点滅（1秒間に約1回）しているとき

オートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度が高くなっています。高くなったオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度を下げるため

にエンジン制御が働き、エンジン回転数と車速が下がることがあります。車を安全な場所に止めてセレクトレーバーを **P** に入れ、エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしてインジケーターが点滅しないことを確認します。インジケーターが点滅しなければもとのように走行できます。インジケーターが点滅したままのときは販売会社で点検を受けてください。

インジケーターがゆっくりと点滅（2秒間に約1回）しているとき

トランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

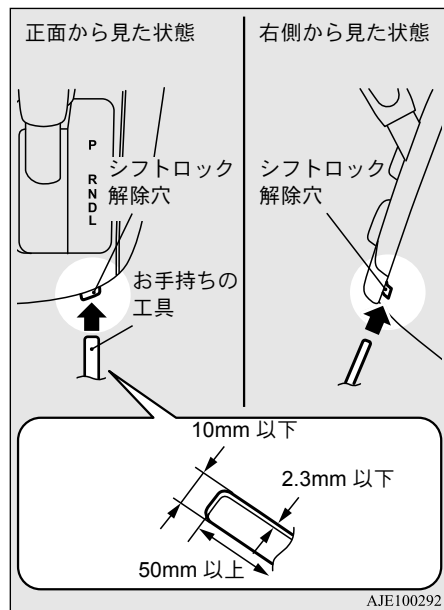
セレクトレーバーを **P** から操作できないときは

万一、エンジンスイッチまたは電源モードが ON でブレーキペダルを踏んだ状態でも、**P** から他の位置に操作できないときは、バッテリー上がりやシフトロックシステムの故障が考えられます。ただちに販売会社で点検を受けてください。

また、お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクトレーバーを操作してください。

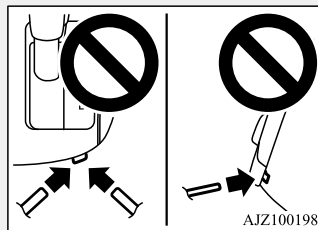
1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は、エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。

4. シフトロック解除穴にお手持ちの先の細い工具などを差し込み、図のように押し込みながらセクターレバーを**N**に入れます。



⚠ 注意

- 工具などを斜めに押し込むとシフトロックは解除できません。また、内部部品の破損などにつながるおそれがあります。



CVT 車の運転のしかた

J00702902358

⚠ 注意

- 車を少し移動させるときでも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは、セクターレバーが**R**に入っていることを忘れてしまうことがあります。後退した後は、すぐに**R**から**P**または**N**に戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは、身体を後ろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

⚠ 注意

- 切り返しなどで**D**から**R**、**R**から**D**と何度もレバーを操作するときは、そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。車が動いているうちに**P**や**R**に入れると、トランスミッションの故障の原因になります。

発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠ 警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- セクターレバーを**P**, **N**以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により、ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

クリープ現象とは...

- セクターレバーを**P**, **N**以外に入れると動力がつながった状態となり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車（CVT 車）特有の現象。
2. セクターレバーを前進は**D**, 後退は**R**に入れます。

⚠ 警告

- セクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

3. セクターレバーの位置を確認します。



4. 周囲の安全を確認し、パーキングブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないようパーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認してから、パーキングブレーキを解除して発進します。

走行

⚠ 警告

- 走行中はセクターレバーを**N**に入れないでください。誤って**P**, **R**に入れたり、エンジンブレーキが効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

⚠ 注意

- セクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進の位置（**D**, **Ds**, **L**）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置**R**にしたまま惰性で前進しないでください。
エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常走行

セクターレバーを**D**で走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

停車

1. セクターレバーは**P**のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠ 注意

- エアコン作動時などは、自動的にエンジン回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

⚠ 注意

- 急な上り坂ではクリーブ現象が働いても、車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセクターレバーを**N**に入れます。

⚠ 注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一、セクターレバーが**P**、**N**以外に入っていると認め急発進の原因になります。

4. 再発進するときは、セクターレバーが**D**位置にあることを確認してから発進してください。

駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セクターレバーを**P**に入れます。

⚠ 注意

- **P**では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセクターレバーが**P**に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに**P**に入れると、急停止してけがをするおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

📖 アドバイス

- 坂道では、まずパーキングブレーキをかけてからつぎにセクターレバーを**P**に入れてください。パーキングブレーキをかけずに**P**に入れると発進時にセクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、セクターレバーが**P**以外に入っていた場合、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

フルタイム 4WD

タイプ別装備

J00706701113

フルタイム4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。

2WD 車と同様、ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転を心がけてください。

4WD 車取り扱い上の注意

⚠ 注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
 - ・砂地やぬかるみ等タイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり、重大な故障の原因となるおそれがあります。
 - ・渡河などの水中走行はしないでください。
 - ・ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル、急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD 車取り扱い上の注意

J00706601949

タイヤ、ホイールについて

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

- 4 輪とも指定のタイヤ、ホイールを装着してください。
→「タイヤ、ホイールのサイズ」
P.12-6

- タイヤ、ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは 5,000km ごとに行ってください。
→「タイヤローテーション」P.9-5
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
→「タイヤの空気圧」P.12-7

⚠ 注意

- 同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

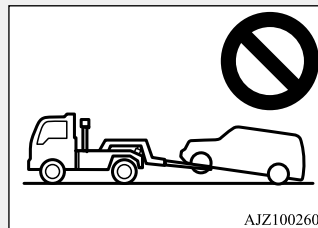
4WD 車は、必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか、4 輪接地の状態でけん引してください。
ただし、つぎの場合は販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。

- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

⚠ 注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、駆動系部品が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P.11-30



📖 アドバイス

- レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート」を見て販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠ 注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり、ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エマージェンシーストップシグナル

J00721301136

急ブレーキ時に、非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし、追突の可能性を低減させる装置です。

エマージェンシーストップシグナルが作動すると、メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠ 注意

- ABS警告またはVDC警告が表示されているときは、エマージェンシーストップシグナルが作動しないことがあります。
→ 「ABS 警告灯」 P.5-38
→ 「VDC 警告表示」 P.5-41

📖 アドバイス

- [エマージェンシーストップシグナルの作動条件]
つぎの条件がそろったときに作動します。
・車速が約 55km/h 以上のとき
・ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度やアンチロックブレーキシステム (ABS) の作動状況から、システムが急ブレーキだと判断したとき
[エマージェンシーストップシグナルの作動停止条件]
つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
・ブレーキペダルから足を離れたとき
・非常点滅灯スイッチを押したとき
・車両減速度やABSの作動状況から、システムが急ブレーキではないと判断したとき

ヒルスタートアシスト

タイプ別装備

J00721801144

ヒルスタートアシストは、急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し、発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき、ブレーキをかけた状態を約 2 秒間保持します。

⚠ 注意

- ヒルスタートアシストを過信しないでください。
極端に急な上り坂、凍結した上り坂、ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両が後退することがあります。
また、停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり、乗員の人数、荷物の重さなどによってヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- ヒルスタートアシストは 2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに、ヒルスタートアシストを使って停止状態を保つことはしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ヒルスタートアシストが作動中に、エンジンスイッチまたは電源モードを ON 以外にしないでください。
ヒルスタートアシストが作動を停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J00721901204

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. ブレーキペダルから足を離します。
ヒルスタートアシストがブレーキ力を保持し、車両の後退を約 2 秒間防止します。

ブレーキアシスト

3. アクセルペダルを踏み込みます。
ヒルスタートアシストは、車両の発進に合わせて、徐々にブレーキ力をゆるめます。

📖 アドバイス

- ヒルスタートアシストは、つぎの条件がそろったときに作動します。
 - ・エンジンがかかっている。
 - ・セクターレバーがPまたはN以外の位置に入れてある。
 - ・ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停止している。
 - ・パーキングブレーキを解除している。
- ヒルスタートアシストは、ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダル踏み込むと作動しません。
- ヒルスタートアシストは、坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- ヒルスタートアシスト作動中に車体下から作動音がすることがあります。これはヒルスタートアシストが正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告表示

J00722001228

システムに異常があると表示灯が点灯します。

除く VDC 装着車



VDC 装着車



このような場合は、つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め、エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ、表示灯が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや、たびたび表示するときは、通常走行には支障はありませんが、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

⚠️ 注意

- 警告が表示されるとヒルスタートアシストが作動を停止します。慎重に発進してください。

ブレーキアシスト

タイプ別装備

J00722200089

ブレーキアシストは、緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し、より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くなるようになります。

⚠️ 注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

📖 アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。ブレーキアシストの作動を停止させたいときは、ブレーキから完全に足を離してください。

📖 アドバイス

- 走行中にブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり、車体やハンドルに振動を感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ABS 警告灯が点灯しているときは、ブレーキアシストは作動しません。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

J00703000769

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し、制動力を維持し、かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠️ 注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

⚠️ 注意

- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4 輪とも同一サイズ、同一種類の指定タイヤを装着してください。サイズや、種類の異なるタイヤを混用すると、ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

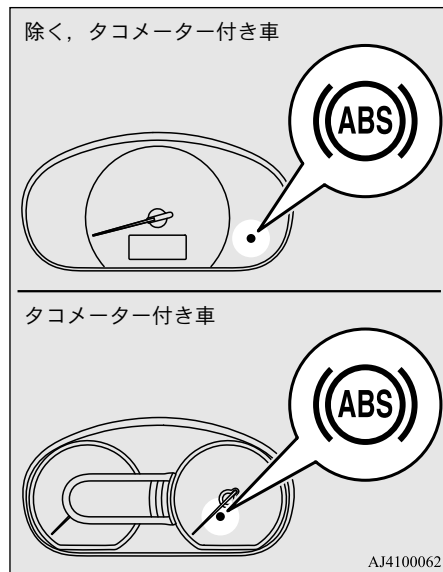
- つぎのような場合は、ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので、速度はひかえめにし、車間距離を十分とって運転してください。
 - ・砂利道や深い新雪路を走行するとき
 - ・タイヤチェーンを装着しているとき
 - ・道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
 - ・凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール、工事用の鉄板、白線の上、段差を乗り越えるときなど、車輪が滑りやすい状況では、車輪のロックを防止するため急制動以外でも ABS が作動することがあります。

📖 アドバイス

- ABS が作動すると車体、ハンドル、ブレーキペダルに振動を感じたり、作動音が聞こえます。また、ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- つぎのような場合は、エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また、ブレーキペダルにショックを感じる場合があります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
 - ・エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき。
 - ・エンジンをかけてしばらく走行したとき。
- ABS は、発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また、車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS 警告灯

J00704501973



システムに異常があると警告灯が点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

- 点灯したままのとき、または点灯しないときは装置の故障が考えられますので、販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704601668

ABS 警告灯のみ点灯したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
エンジンを停止し、再度エンジンをかけ、その後しばらく走行して警告灯が点灯しなければ異常ありません。
しばらく走行しても点灯したままのときは販売会社で点検を受けてください。この場合、ABS は作動せず、普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると、警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。
このようなときは、しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
充電しても点灯したままのときや、たびたび点灯するときは販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため、急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け、ただちに車を安全な場所に止めて販売会社へ連絡してください。

電動パワーステアリング (EPS)

J00703101448

エンジン回転中にパワーアシストが作動し、ハンドルの操作力を軽くする装置です。
もし、パワーアシストが作動しなくなったときは、ハンドルが重くなります。この場合は、販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

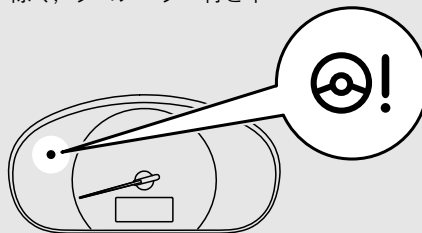
アドバイス

- 駐車するときなどに、ハンドルをいっばいに回す操作を繰り返すと、システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合、しばらくハンドル操作を控えてください。
システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドランプを点灯したままですべて停車しているとき、ハンドル操作をするとヘッドランプが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

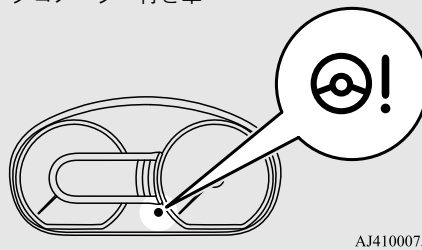
電動パワーステアリング (EPS) 警告灯

J00704701412

除く、タコメーター付き車



タコメーター付き車



AJ4100075

システムに異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチまたは電源モードを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

注意

- エンジン回転中に警告灯が点灯したときは、ハンドルが重くなる場合がありますので、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

ビークルダイナミクスコントロール (VDC)

タイプ別装備

J00710301367

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち、アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで、車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。
→「アンチロックブレーキシステム (ABS)」P.5-37
→「トラクションコントロール機能」P.5-40
→「スタビリティコントロール機能」P.5-40

⚠ 注意

- VDC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。VDC を過信せず、常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4 輪とも同一サイズ、同一種類の指定タイヤを装着してください。サイズや種類の異なるタイヤを混用すると、VDC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。VDC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

- つぎのような場合は、エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また、ブレーキペダルにショックを感じる場合があります。これは VDC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- エンジンスイッチまたは電源モードを ON にしたとき。
- エンジンをかけてしばらく走行したとき

📖 アドバイス

- VDC が作動すると、車体に振動を感じたり、エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは、VDC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400156

トラクションコントロール機能は、滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に、旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠ 注意

- 雪道や凍結路を走行するときは、冬用タイヤを装着して速度は控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500186

スタビリティコントロール機能は、急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横

滑りを、各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し、車両の安定性を向上させる機能です。

📖 アドバイス

- スタビリティコントロール機能は、車速が約 15km/h 以上で作動します。


VDC の ON/OFF 作動切り換え

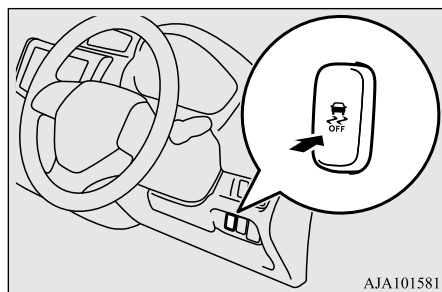
J00710801522

📖 アドバイス

- ぬかるみ、砂地または新雪などからの脱出時に、アクセルペダルを踏み込んでも VDC の働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは、VDC OFF スイッチで VDC を OFF にすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチの電源モードを ON にすると自動的に VDC は ON になります。VDC を OFF にしたいときは VDC OFF スイッチを 3 秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると 3 秒後に、 表示灯が表示されます。もう一度押すと ON になります。



AJA101581

⚠ 注意

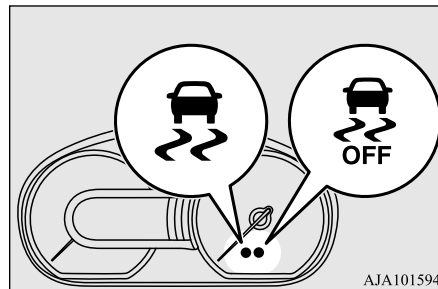
- 安全のため、VDC OFF スイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず VDC を ON にしてください。

📖 アドバイス

- VDC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方が OFF になります。
- VDC を OFF にしたあとも VDC OFF スイッチを押し続けると、誤操作防止機能が働いて VDC は ON に戻ります。

VDC 作動表示灯／ VDC OFF 表示灯

J00711601309



AJA101594



VDC 作動表示灯

VDC が作動すると点滅します。



VDC OFF 表示灯

VDC OFF スイッチで VDC を OFF にすると点灯します。

⚠ 注意

- 点滅表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か、加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。

📖 アドバイス

- エンジンをかけると点滅表示灯が点灯することがあります。これは、エンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで、すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は、タイヤのグリップ力が低下するため点滅表示灯が点滅しやすくなります。

5

VDC 警告表示

J00715701278

システムに異常があると点滅表示灯と、点滅表示灯が点灯します。このような場合は、つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め、エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ、表示灯が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや、たびたび表示するときは、通常走行には支障はありませんが、できるだけ早く販売会社で点検を受けてください。

バックビューモニター

タイプ別装備

J00704201273

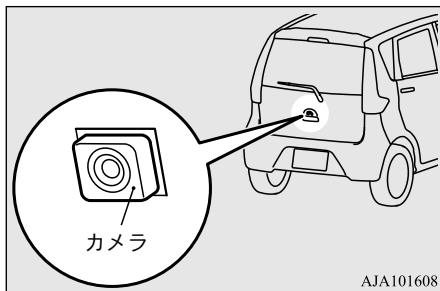
バックビューモニターは、車両後方の映像をルームミラーに表示させる装置です。

⚠ 注意

- バックビューモニターは、車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず、バックビューモニターが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。バックビューモニターだけを頼りに運転しないでください。

カメラの取り付け位置

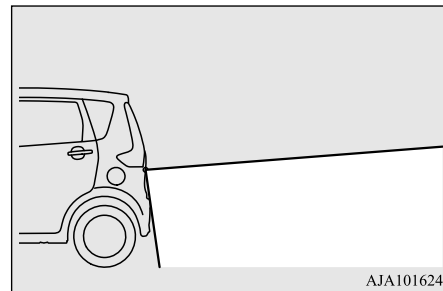
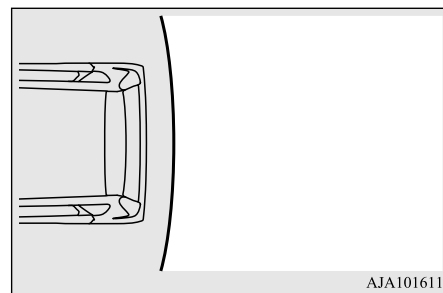
カメラはテールゲートのハンドルの上に内蔵されています。



画面に表示できる範囲

バックビューモニターが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また、リヤバンパーの両端や下部などは表示できませんので後退するときは、必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

バックビューモニターの表示範囲



使い方

J00707201290

エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときにセレクターレバーを **R** に入

れると、ルームミラーに車両後方の映像が自動的に表示されます。

セクターレバーを⑥以外の位置にすると、表示は消えます。

⚠ 注意

- カメラは特殊レンズを使用しているため、画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

📖 アドバイス

- カメラは特殊なレンズを使用しているため、駐車場などの区画線は、画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合、画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間）
 - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが熱いとき、雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが、故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると、障害物が十分に確認できません。水滴、雪、泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので、つぎのことをお守りください。
 - ・衝撃を与えない
 - ・ワックスを付着させない

📖 アドバイス

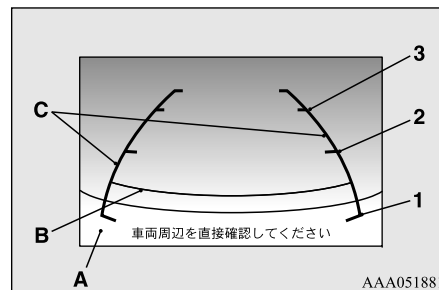
- ・熱湯をかけない
- ・分解しない
- 後退時のブザーはセクターレバーが⑥にあることを知らせるもので、障害物があることを警告するブザーではありません。

画面の見方

J00722901054

距離と車幅の目安となる線とリヤバンパー上面（A）が画面に表示されます。

- 赤色の線（B）は、リヤバンパーから約 50cm の地点を示しています。
- 2 本の緑色の線（C）は、車体幅から外側に約 20cm の地点を示しています。



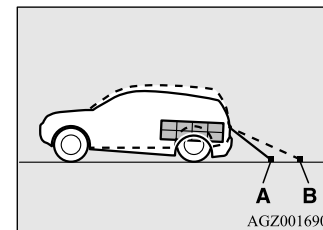
AAA051881

- 1- おおよそのリヤバンパー後端位置
- 2- リヤバンパー後端から約 100cm

3- リヤバンパー後端から約 200cm

📖 アドバイス

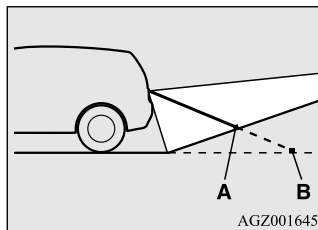
- 乗車人数、積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合、画面内の線の表示が実際と異なることがあります。画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため、つぎの場合、画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。
 - ・人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき



- A- 実際の障害物
B- 画面に映る障害物

アドバイス

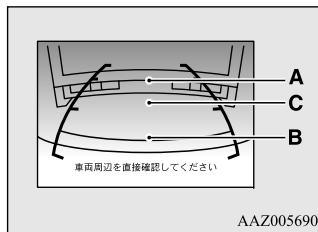
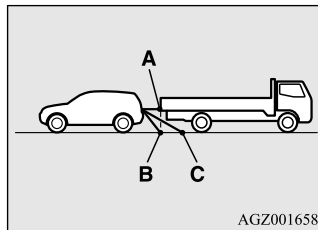
- 車両後方に上り坂があるとき



- A- 実際の障害物
- B- 画面に映る障害物

アドバイス

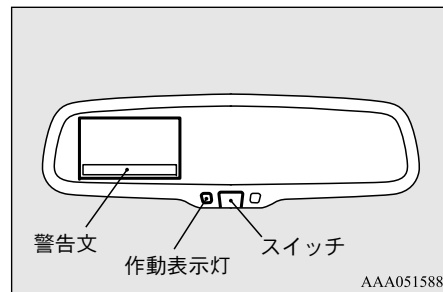
- 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
例：画面の映像では手前からの B, C, A の順に見えますが、実際には A, B が同じ距離、C が A, B よりも遠い距離にあります。



ルームミラーの画面表示を変更するときは

J00722801082

ルームミラーの画面を非表示にしたり、画面に表示する警告文の言語を変更することができます。



画面を一時的に非表示にするときは

画面表示中にスイッチを押すと、一時的に画面が非表示になります。もう一度スイッチを押すと、再び画面が表示されます。
画面を非表示にした場合でも、エンジンスイッチの電源モードを ON の状態にするたびに、画面が表示される設定に戻ります。

画面を常に非表示にするときは

1. エンジンスイッチの電源モードを ON の状態にします。

⚠ 注意

- 安全のため、エンジンをかけたまま操作しないでください。

2. セレクターレバーを **P** に入れます。
3. スイッチを長押しします (約 15 秒)。長押し中に、作動表示灯が点灯 (橙色) しますが、画面が消えるまでスイッチを押し続けます。画面が消えると非表示設定が完了します。

警告文の言語を変更するときは

1. エンジンスイッチの電源モードを ON の状態にします。

⚠ 注意

- 安全のため、エンジンをかけたまま操作しないでください。

2. セレクターレバーを **P** に入れます。
3. スイッチを長押しします (約 6 ~ 11 秒)。画面が表示され、作動表示灯 (緑色) が点灯し、言語切換モードになります。

4. お好みの言語が表示されるまでスイッチを押します。

1 回押すたびに言語が切り換わりません。警告文が点滅すると、設定が完了します。

アラウンドビューモニター

タイプ別装備

J00704101070

アラウンドビューモニターは「フロントビューカメラ」、「サイドブラインドビューカメラ (左右)」および「バックビューカメラ」の4つのカメラの映像を組み合わせ、ルームミラーに映像を表示させる装置です。駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

⚠ 注意

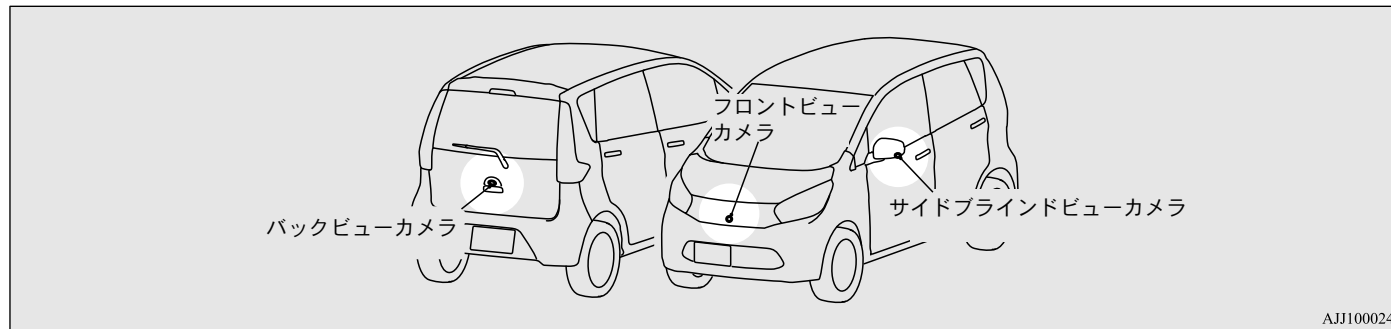
- アラウンドビューモニターは、車両周囲の安全を確認するための補助装置です。映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず、アラウンドビューモニターが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。特に車両の四隅はアラウンドビューモニターに障害物が映らない死角になります。アラウンドビューモニターだけを頼りに運転しないでください。

⚠ 注意

- ドアミラーを格納した状態およびテールゲートを開いた状態では使用しないでください。適切な範囲を表示することができません。

カメラの取り付け位置

カメラはつぎの位置に内蔵されています。



警告

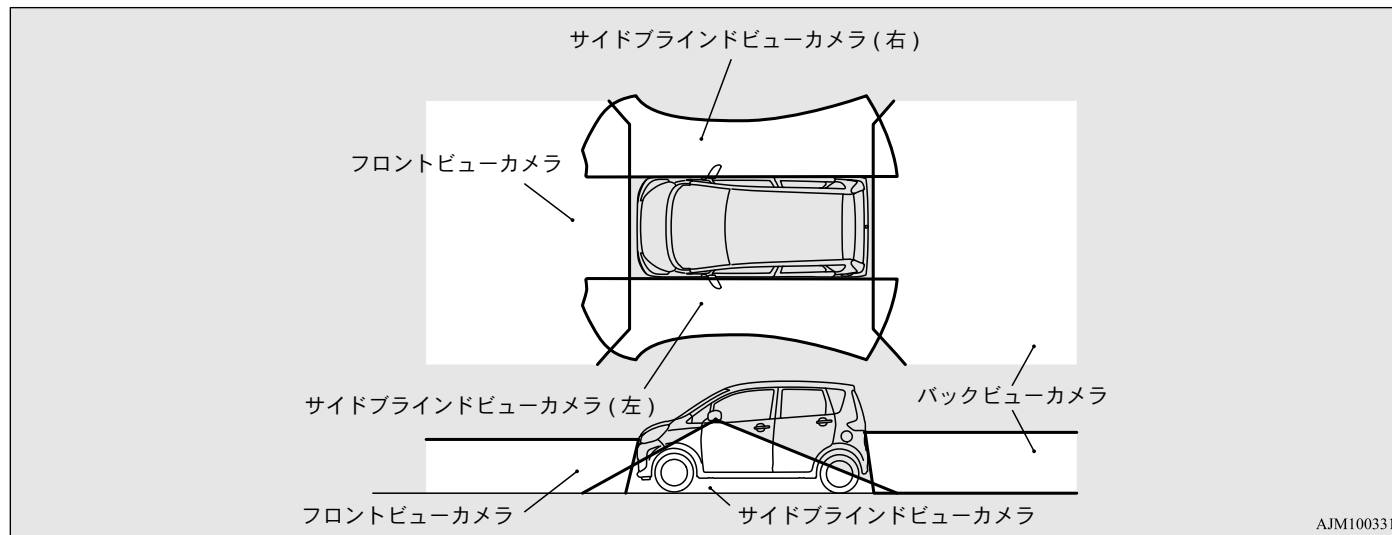
- カメラの取り付け位置周辺に作動を妨げるものを取り付けないでください。

画面に表示できる範囲

J00713301036

カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また、前後バンパーの両端周辺および下部などは表示できませんので、必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

カメラの表示範囲



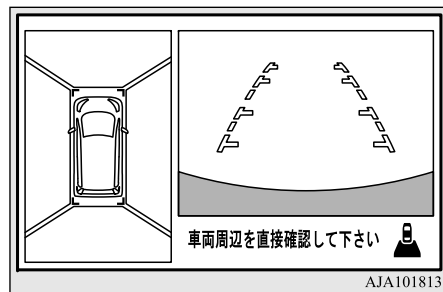
画面に表示できる映像の種類

J00713401079

左側画面と右側画面で構成して表示します。

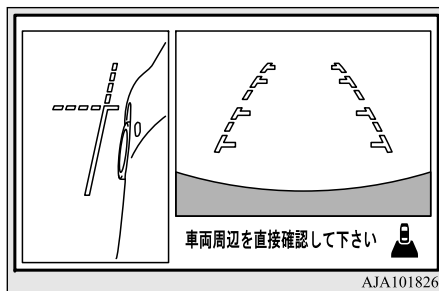
5 トップビュー／バックビュー表示

車両周囲および車両後方の映像を表示します。



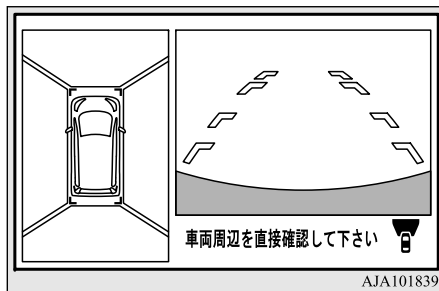
サイドブラインドビュー／バックビュー表示

助手席側車両側方および車両後方の映像を表示します。



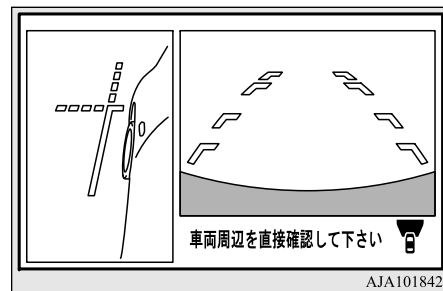
トップビュー／フロントビュー表示

車両周囲および車両前方の映像を表示します。



サイドブラインドビュー／フロントビュー表示

助手席側車両側方および車両前方の映像を表示します。



⚠ 注意

- カメラは特殊レンズを使用しているため、画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

📖 アドバイス

- カメラは特殊なレンズを使用しているため、駐車場などの区画線は、画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合、画面が見つづらくなる場合がありますが異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間）

📖 アドバイス

- 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが高温になった場合、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラが熱いとき、雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが、故障ではありません。
- 夜間などに画面全体が白くなったり、青い点が映ることがあります。また、車のランプや建物の照明などが、各表示に映り込むことがあります。
- 周囲の明るさなど状況によっては、それぞれの画面で映像の明るさ、色合いが異なることがあります。
- カメラのレンズが汚れていると、障害物が十分に確認できません。水滴、雪、泥または油污れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので、つぎのことをお守りください。
 - 衝撃を与えない
 - ワックスを付着させない
 - 熱湯をかけない
 - 分解しない
- 後退時のブザーはセレクトレーバーが **Ⓔ** にあることを知らせるもので、障害物があることを警告するブザーではありません。

使い方

J00713601068

エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときに使用できます。

セレクトレーバーでの操作

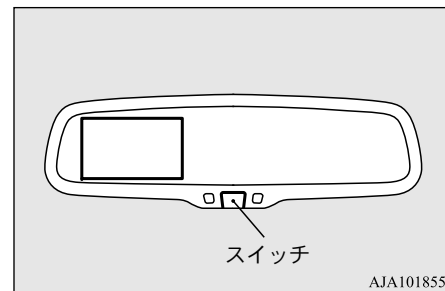
セレクトレーバーを **Ⓔ** に入れると、ルームミラーの画面にトップビュー／バックビューが表示されます。
セレクトレーバーを **Ⓔ** 以外の位置にすると、表示は消えます。

📖 アドバイス

- スイッチを押すことにより、左側画面をサイドブラインドビューに切り替えることができます。

スイッチでの操作

スイッチを押すとトップビュー／フロントビューが表示されます。



5

📖 アドバイス

- セレクトレーバーが **Ⓔ** 以外のときにスイッチを押してアラウンドビューモニターを表示させたあと、3 分間何も操作しないと表示は消えます。

画面の切り替え

スイッチを押すたびに、つぎの通り表示が切り替わります。
 トップビュー／フロントビュー表示 → サイドブラインドビュー／フロントビュー表示 → アラウンドビューモニター OFF

アドバイス

- 右側画面がフロントビュー表示のときにセクターレバーを **B** に入れると、右側画面はバックビュー表示に切り替わります。
- セクターレバーを **B** 以外の位置にすると、右側画面はフロントビュー表示に切り替わります。
- 車速が約 10km/h 以上のときにスイッチを押すと左側画面にサイドブラインドビューのみ表示させることができます。
- フロントビュー表示は車速が約 10km/h 以上になると表示されなくなります。
- 表示の切り替わり時は、映像の表示が遅れることがあります。

画面の見方

J00729300021

トップビュー以外の表示画面は、画面内の線でつぎのことを表示しています。目安としてお使いください。

⚠ 注意

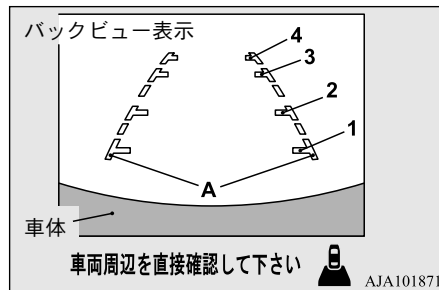
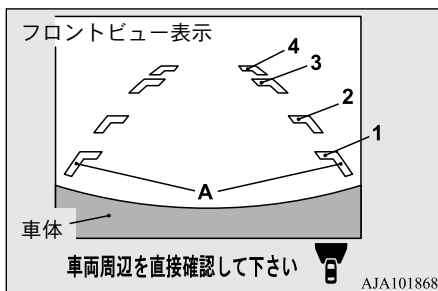
- カメラおよびカメラの周辺をぶつけたときは、映像および画面内の線が正しく表示されないことがあります。必ず販売会社で点検を受けてください。

フロントビュー／バックビュー表示

距離と車幅の目安となる線と車体が画面に表示されます。

- 2本の縦線 (A) は、車体幅の目安を示しています。
- 車体からの距離の目安はつぎのように示しています。

- 1-フロントバンパーまたはリヤバンパー後端から約 50cm (赤色)
- 2-フロントバンパーまたはリヤバンパー後端から約 100cm (黄色)
- 3-フロントバンパーまたはリヤバンパー後端から約 200cm (緑色)
- 4-フロントバンパーまたはリヤバンパー後端から約 300cm (緑色)

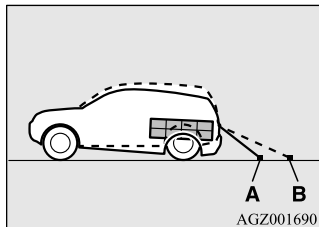


アドバイス

- 乗車人数、積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合、画面内の線の表示が実際と異なることがあります。画面内の線は水平な路面上などを基準としています。このため、つぎの場合、画面に映る障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

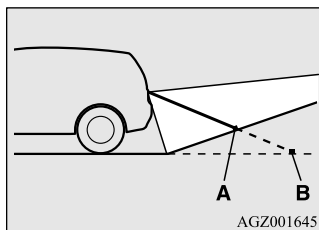
アドバイス

- 人や荷物の重みで車両後部が下がっているとき



- A- 実際の障害物
- B- 画面に映る障害物

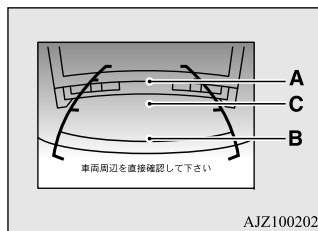
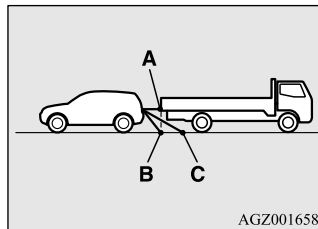
- 車両後方に上り坂があるとき



- A- 実際の障害物
- B- 画面に映る障害物

アドバイス

- 画面内の線は道路などの平面物を対象にしています。このため張り出し部分のある立体物との間の距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。
例：画面の映像では手前からの B, C, A の順に見えますが、実際には A, B が同じ距離、C が A, B よりも遠い距離にあります。

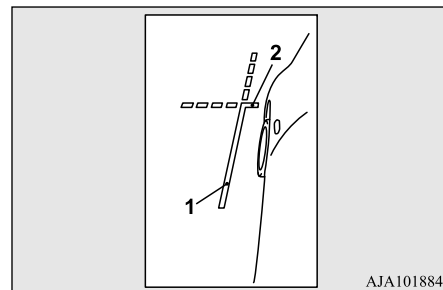


サイドブラインドビュー表示

車幅と車両前端の目安となる線が画面に表示されます。

- 1-ドアミラーを含めた車幅の目安
- 2-フロントバンパー前端位置の目安

破線は各目安線の延長線を示します。

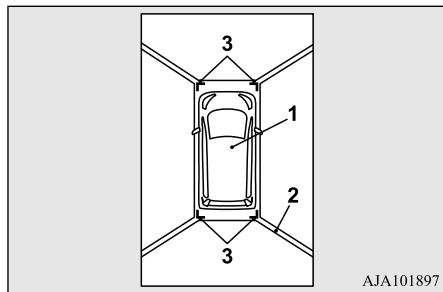


トップビュー表示

自車位置や駐車スペースへの進入コースが確認しやすいよう、車両を上から見たイメージの画像が表示されます。

- 1-自車位置
- 2-カメラで撮影できない境目の範囲（黒色）

3-カメラで撮影できない前後バンパーの両端（赤色）



⚠ 注意

- トップビュー表示は、「フロントビューカメラ」、「サイドブラインドビューカメラ（左右）」および「バックビューカメラ」からの映像を組み合わせ処理した擬似的な画像のため、障害物を実際より遠くに表示します。
自車と障害物との間にわずかな距離があるように見えてもぶつかることがありますので、必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。

📖 アドバイス

- カメラで撮影できない境目の範囲（2）は、トップビューを表示した最初の 3 秒間黄色で表示します。

📖 アドバイス

- カメラで撮影できない前後バンパーの両端（3）は、運転者に注意を促すためトップビューを表示した最初の 3 秒間点滅します。
- カメラより上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、各カメラの取り付け位置や角度が変わるとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり曲がって見えることがあります。